

大変暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

去る4月に皆様から大変あたたかいご支援を頂戴し、4回目の当選をさせていただき4期目をスタートしました。またこの度、自民党府議会議員団のなかで政調会長を仰せつかり、大変やりがいをもって議会活動をさせていただいております。政策は議員の要であると思っています。先輩議員からは行政が提案する政策や事業に「心」を入れることが議員の役割であると教わりました。皆様からのお声、小さなお声も拾いながら、より多くの方にとってよりよいものとなるよう、力を尽くして参りたいと考えています。ご支援をくださっている皆様にはこれからもご意見やご要望をぜひともお聞かせいただきたいと思います。

京都府議会議員 藤山ゆきこ



令和5年度6月補正予算の概要

総額 95億5,100万円

事業活動や府民生活を守る施策の推進

●中小企業等の事業継続や事業再構築を後押し
2億4,000万円

●LPガス・特別高圧電力を利用する中小企業や消費者等を支援
18億5,000万円

国のエネルギー高騰対策の対象となっていない
LPガス利用者に販売事業者を通じて支援
1契約当たり 上限3,000円

●燃料費高騰の影響を受ける事業者を支援
(農林水産・物流・伝統産業等) 8億5,400万円

●医療機関・社会福祉施設等を支援 7億円

●地域商業活性化の支援 2億円

商店街等のプレミアム付商品券の発行を支援

●新型コロナウイルス感染症対策関連
2億4,200万円

あたたかい京都づくりに向けた施策の推進

●子どもの読書活動応援事業他 6,500万円

●子ども食堂やこどもの居場所等のイベント開催
や食事提供の経費を支援 1,400万円

●子どもの給食臨時支援事業 2億3,000万円

●京都リカレント教育推進プラットフォーム強化事業
2,600万円

●府内産農林水産物加工食品等販売促進事業
1,000万円

●公共交通機関を利用した府域周遊観光を促進
1,000万円

・位置情報アプリを活用した府域周遊観光イベントを開催
・公共交通機関及び府内観光施設等でのスタンプ
取得で府内産品等を抽選でプレゼント

●京都版市町村連携型ふるさと納税推進費
3億6,900万円

●道路整備等の公共事業 39億3,100万円

1 雇用と人づくりについて

- ① リクルートワークス研究所の予測では、2040年には全国で1,100万人余りもの人手不足が生じ、京都府も様々な人材確保策を展開しているが、不足率は39.4%と全国で最も高くなると示された。生産年齢人口の減少など、深刻化する人手不足について、どう把握し、どのような見通しを立てているのか。
- ② 「未来京都・人づくり懇話会」の設置や求職者と企業のミスマッチを防ぐ取組が進む中、地元でも、いかに社会や地域のためになる人材を育成するかとの視点から賃金アップや独自の子育て支援に取り組み、社会や地域貢献につながる好循環を生んでいる事例があるなど、企業による人づくりは非常に重要なものとする。人々が支えあう「あたたかい京都づくり」に向けた、京都府の産業を支える人づくりについての考えはどうか。

答 弁

京都府の有効求人倍率はコロナ前の水準に戻りつつあるが、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口による今後の府内の生産年齢人口の見通しについては、2040年には、2020年から約2割減少することが見込まれ、人手不足の状況は深刻化している。

人材確保支援機能の強化として「中小企業人財確保センター」や「北京都ジョブパーク」、就労環境整備を図るため「中小企業人材確保・多様な働き方推進センター」を設置。さらに、「京都府生涯現役クリエイティブセンター」では、DX人材育成等をはじめとする全世代に向けたリカレント教育を通じた能力向上を支援。

また、2割程度にとどまっている府内学生の府内企業への就職を促進するため、有償型職場体験事業なども実施。こうした取組を進めるとともに、これからの人材確保のあり方を考える上で、就業者の最近のニーズとして、

- キャリア志向が強い留学生等の高度外国人材は、キャリアアップの評価制度を求めている
- 子育て期の方は、妊娠・出産・育児をキャリアとして生かす仕組みを求めている
- 転職志向が強い若い世代は、労働移動を促進するための支援を求めている

などといった状況があることから、働く方々の意識の変化に対応し、対策を講じていくことが必要で、就業支援機関の機能を時代に合ったものに抜本的に見直したい。これまでの労働・雇用対策では十分に対応しきれない課題に対して、新たな視点で、幅広く、将来の京都産業を支える人づくりを議論するため、「未来京都・人づくり懇話会」を5月に設置し、第1回目では、

- 高学歴の方ほど、育児等でキャリアが中断すると、再就職や即戦力として復職することが難しい
- 若い人は、この会社は安心して働けるのか、ここで自分は成長できるのか、ということを重視し、転職志向も強い
- 自社の魅力向上に向け、社員に対するリカレント教育の充実を経営の柱とすべき

などの意見があった。

今後、懇話会で得られた視点を施策に活かす中で、京都産業の振興・発展を支える人材の確保・育成を図るとともに、府民誰もが「働くこと」や「社会貢献」を通して、生涯現役で輝き続けることができる京都社会を目指し、総合的な人手不足対策に取り組んでいきたい。

2 第一次産業における人材確保と育成について

第一次産業を取り巻く状況は未だ厳しい環境にあり、意欲ある後継者や生業として利益を上げる産業育成等の課題を乗り越え、持続可能で力強い農林水産業を推進していくためには、しっかりと人材確保・育成策を講じていく必要があると考える。

- ① 第一次産業の成長産業化に向けた取組や人材の確保・育成策にどのように取り組み、また、今後の展開はどうか。
- ② 持続可能で力強い農林水産業を進めるためには、事業者の仕事確保や所得向上が重要と考えるがどうか。

答 弁

①

魅力的な産業として成長するためには、ＩＣＴなどの先端技術の活用により、収益性の高い経営、付加価値の高い商品やサービスが提供されることが大変重要と考える。

担い手確保のため、生産分野を中心に基礎を学ぶ農業・林業の大学校、経営の実践力を養う宇治茶や水産業の学舎などで、年間約 250 人の新規就業者を育成してきた。今後、消費者ニーズの多様化に敏感に対応し、先端技術を駆使した機能性の高い加工食品の開発や、新たなマーケットの開拓などを行う人材の育成が重要となる。

農業では、需要が拡大している中食市場への参入を促進するため、宇治市内にある南部市場に加工食品の研究開発拠点の整備を計画。最先端の知識・技術を備えた人材の育成と、異業種連携による付加価値の高い中食商品の開発支援に取り組んでいきたい。

高いブランド力を有する宇治茶は、製茶加工など優れた技術が必要なため、高品質な宇治茶の生産を維持できる人材育成に、先進農家でのＯＪＴ研修の充実や、ＩＣＴ活用で熟練者の技術の見える化などに取り組んでいく。林業では、所有者への施業提案や「森林プランナー」を育成する人材育成セミナーを開催。

水産業では、定置網漁業などに加え、需要拡大が期待される陸上養殖など、養殖業の担い手を育成するための学舎カリキュラムの拡充などに取り組んでいく。

②

条件が良い事業地を確保し、生産性の向上を図ることで経営力を強化し、安定した所得が得られる産業として確立することが大変重要となる。

農業においては、将来の農地利用の在り方を話し合う「地域計画」の策定を進め、意欲ある担い手に農地中間管理事業を活用して生産条件の有利な農地を集積した上で、スマート農業の実践による作業の効率化や、高収益作物への転換などにより、経営力の強化を支援。

林業においては、森林環境譲与税を活用し、林業経営に適した人工林の集積による事業地の確保を一層進めるとともに、川上から川下までの事業者をグループ化し、ＩＣＴを活用して需給情報を共有するサプライチェーンを構築することで、木材の安定供給による収益確保に取り組んでいく。

今後とも、農林水産事業者の生産基盤強化と収益力向上に全力で取り組むことで、持続可能な農林水産業の展開と意欲ある人材の確保につなげていく。

3 教職員の人材確保・育成について

教育は国づくりの根幹であり、その教育を担う教員には使命感と子どもへの愛情、責任感が必要であると考え。ＩＣＴ化が進む中、実社会ではより分化が進み、人間はより人間らしい力を発揮することが必要となり、教員もまた、授業外でも子どもに正解や公式のない事柄について考えさせ、モラルや道徳、相手の心を推し量る日本人の心等を教えていくことが大切になると考える。

① 教育は人づくりの根幹であるという意味において、それを担う教員の育成についてどのように考えているのか。

② 子どもの人間力を高めるための教育について、どのように取り組んでいくのか。

答 弁

①

我が国の学校教育の特徴は、学習指導のみならず、あらゆる場面を通じて、知・徳・体を一体で育む、全人的な教育を行うという点にある。

第２期京都府教育振興プランにおいても、人を思いやり尊重する心を育て、自らの考えや思いを伝えながら寛容性をもって互いに折り合える力を身に付け、感性や情緒、創造力や表現力を育む教育の実現を目指しており、これは「日本人の心」に通ずるものであると考えている。

こうした教育を支える教員の育成について、教員に求める資質能力として、教育的愛情や使命感、責任感とともに

に、人権尊重や人間性、コミュニケーション力を「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」に掲げている。これに基づき、経験年数に応じた系統的な研修やＯＪＴを実施するとともに、教育以外の多様な世界を経験する等、人として成長を続けることが重要だと考え、資質能力を高める取組をさらに推進していく。

②

人の気持ちを慮り、人とつながる力や主体的に考える力の育成が重要である。

「考える道徳」「議論する道徳」や、体験活動等を通じた協働的な学び、班活動や課外活動など、同じ空間で時間を共にする中で豊かな人間性の育成につながる取組を更に推進したいと考えている。

府教育委員会としては、教職員自身も学び続け、人間性を磨いていくとともに、子どもたちがその教職員に見守り支えられ、よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人へと成長できるよう、全人的な教育を一層進めていく。

議員活動

藤山ゆきこ府政報告会・シンポジウム

多くの方にご参加いただき、ありがとうございました！

我が国の底力、経済大国へと押し上げたものづくり力、そして京都の文化力によって、再び世界の中で輝く国にしたいと思っています。その可能性は必ずあると信じています。

私の思いが皆様に届いていますように。



北方領土返還要求京都府民会議第41回大会に出席

領土問題の長期化・複雑化が懸念されるというお話を伺いました。今後の動きが非常に気になるところです。



淀川・木津川水防事務組合の水防訓練

いざという時に発揮されるのは、こういった日々の積み重ねからの知識と経験によるものです。



大型滑り台「抹茶・ほうじ茶」の銘板の除幕式 in 府立山城総合運動公園

訪れるたびに新しくなっていく太陽が丘のこれからがますます楽しみです。



台北駐大阪経済文化弁事処処長の表敬訪問

京都府議会日台親善議員懇話会の役員として同席。

発行 藤山ゆきこ事務所

〒611-0042 京都府宇治市小倉町久保 109 辻岩ビル本館 1F

TEL & FAX 0774-23-9844 yukiko.fujiyama1107@gmail.com

本紙希望の方をご紹介ください

HP はこちらから ➡

